

JR東日本 東神奈川駅 ホーム



所在地：神奈川県横浜市神奈川区東神奈川1丁目
開業：明治41年9月
駅構造・規模：地上駅・2面4線
乗車人員：32,553人/日(2012年)
照明更新完成：平成25年9月

S244

JR東日本横浜線と京浜東北線の2路線が1～4番線を入れ替わりながら停車する東神奈川駅に、お客様の乗り間違い防止と利便性向上のため、各番線の先発案内を照明色で案内するJR東日本初のインジケーター付LED照明器具を導入しました。

「ホーム照明LED化」の横浜線イメージアップの始発駅東神奈川駅で、先発案内機能付LED照明をJR東日本初導入。お客様の利便性を大幅に改善

JR東日本では、横浜線イメージアップの一環として、ホーム照明を順次LED化。省エネで明るく、安全で快適な駅づくりを行っています。その始発駅である東神奈川駅は京浜東北線の停車駅としても利用され、2路線・上下で計4つの乗降場(番線)を有した駅となっています。このうち1番線ホームを除く3つの乗降場で両路線が入れ替わりながら入線する複雑な運用となっており、ここで乗車・乗換えをされるお客様に一目で分かりやすい先発案内が求められていました。

そこでホームLED照明の導入に当たり採用されたのが、JR東日本初の試みとなる、先発情報を一目で分かる光の色で案内する機能(インジケーター)を付帯した照明器具を共同で開発、ホームに沿って配置導入しました。

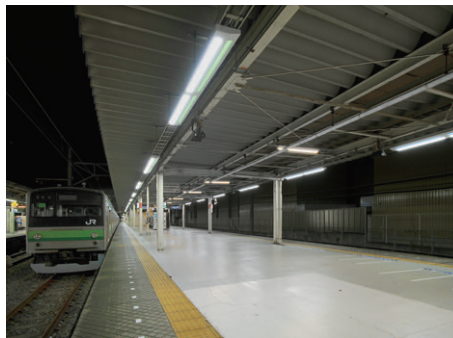


ホーム上に配置したインジケーター付LEDホーム照明(5000K)と、これに直交して設置したLEDホーム照明(3000K)

省エネ性はもちろん駅の居心地にも配慮

インジケーターは地明かりとりの照明部分とは別に発光窓を設け、路線案内の電光表示機と連動して、任意の番線で横浜線の先発がある場合はその路線カラーである緑、京浜東北線の先発がある場合は青に点灯、先発がない場合は消灯します。お客様はこの青や緑に点灯しているインジケーターを確認することで、どのホームから先発があるかを瞬時に見分けることが可能です。

地明かりとりの照明部分はインジケーター付は5000Kの昼白色で点灯します。インジケーターを有しないホーム照明もホームの中央部に配置、こちらは3000Kとすることで夜間は空間全体で約4000Kになるよう調整、明るい日中は3000Kの光が目にとまることで昼夜を問わず居心地の良い光環境をつくりました。また日中は日差しに応じて調光をする昼光利用制御を実施。照明のLED化だけでも蛍光灯照明使用時の約50%と非常に高い電力削減効果がありますが、照明制御と組み合わせることでさらに省エネ性を高めるシステムを導入しています。



横浜線の先発があるホーム(インジケーターが緑色に点灯)



京浜東北線の先発があるホーム(インジケーターが青色に点灯)



光センサーで検知した情報を照明器具の調光信号に変換する照明制御盤1と、電光表示機と連動してインジケーターの発光色情報を発信する照明制御盤2



主な照明設備一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
ホーム	インジケーター付LEDホーム照明	特注品	332	5000K
	LEDホーム照明	特注品	76	3000K